

わくわく創造アトリエの保護者会員のみなさんへ

創意を生かす のりきりまほう

文字通り大変な疫病が日本ばかりでなく世界中を覆っています。

先の見えぬ不安の中でお子様との一日一日はさらに心悩ませることも多かろうと思
います。

アメリカやイタリア、スペインの最悪の事態はすでに周知されている通りです。さら
に悪化されることも予想されますが、お仕事によっては明日の生活もままならないと思
われる方もいらっしゃる筈です。しかし、心配ばかりしていてもなにも解決されません。
今まで味わったことのない時間の流れが生まれることでしょう。どうぞこの時間を天が
与えたまたとない時間とするために、できるだけ我が子と共に過ごし、我が子をまるご
と受け入れてあげる時間にされてみてください。我が子がしたいと思うことの真意がど
こにあるのか、親の「こうさせよう」の発信器のスイッチをオフにして「どうしたいのか」
を受け止める受信器だけを働かせてみましょう。

きつと、今まで見えなかった我が子の思いもよらぬ姿を発見される筈です。

そしてこんな機会にこそ、童具に込められている願いを汲み取って頂きたいと思いま
す。童具に込められた私の願いは、みなさまの願いときつと重なる筈です。

人間は人間の本質に合った生き方をすれば生き生きと積極的に創造活動を展開しま
す。創造力を発揮し、集中する喜びが人間の本質に直結していることを私は子ども達に
よって学ぶことができました。この力を開発するため生み出されたのが童具です。どう
ぞ子どもの創意に添って一緒に楽しんでみてください。

そして、この際に私の著書に触れておられない方はぜひご一読ください。何冊もの著
書はすべて子育て中の保護者や保育者の方々に向けて著したものです。

拙書に述べていることと、お子さんの活動の一致点が見えてくることによって「たか
がおもちゃ」ではないことを、ご理解頂けると思います。

まだまだこの疫病はおさまりそうもありませんが、アトリエは政府や県庁都庁の取組
みに準じて開催するしかありません。どうぞ万難を排して新型コロナウイルスを乗り越
えていきましょう。人類はこれまで様々な疫病と闘い克服して現在いまがあります。その力
を信じて一日一日を注意深く大切に過ごしましょう。

令和二年四月十日

わくわく創造アトリエ会長

和泉